

①荒神橋上流・下流（H22 年度施工箇所）

特 徴：上下流ともに、施工後 2 年程度で中州が形成されはじめており、比較的堆積しやすい場所であると思われるが、場所や形は固定されていない。台風 18 号の出水で大部分が流失している。

要因考察：直線が連続する区間であるため、橋脚や落差工の傾き、わずかな線形の変化、中州・寄州の形成状況、縦断勾配、上流側の「みお筋」など、わずかな要因でも堆積の状況（場所や規模等）が変わると思われる。ただし下流側は、右岸側に流心があると思われ、左岸側に寄州が形成されていく可能性がある。

荒神橋(上流)



2010 年 5 月 31 日（施工前）



2011 年 4 月（施工直後）



2012 年 5 月 14 日（施工後約 1 年 2 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 2 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 11 月 14 日
（施工後 約 2 年 8 ヶ月・出水後）

荒神橋(下流)



2010 年 5 月 31 日（施工前）



2011 年 4 月（施工直後）



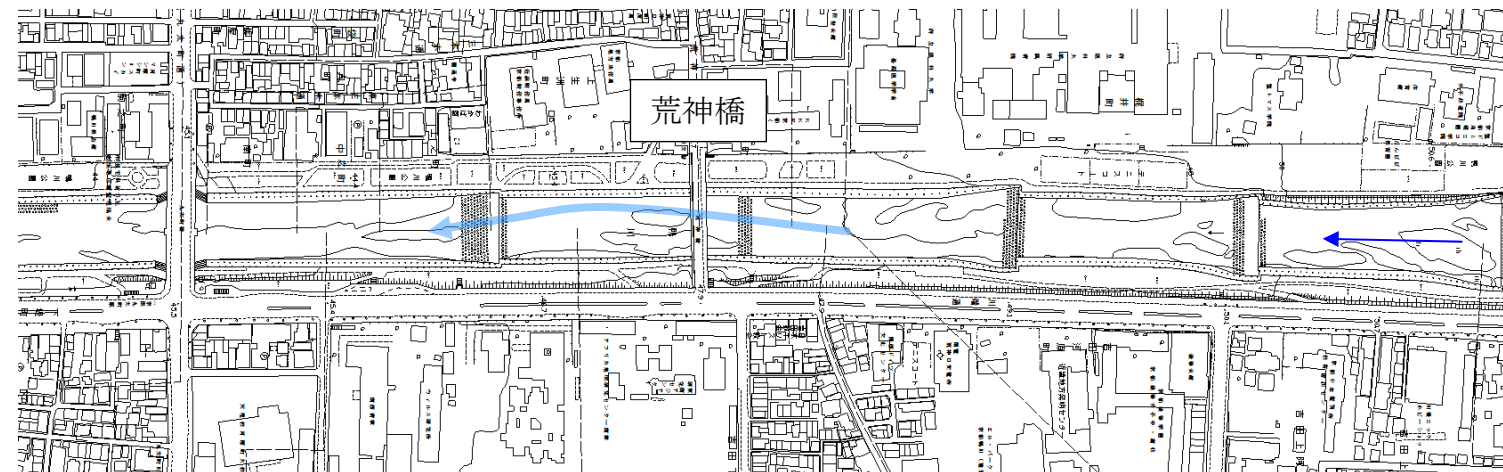
2012 年 5 月 14 日（施工後 約 1 年 2 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 2 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 10 月 11 日
（施工後 約 2 年 7 ヶ月・出水後）



※みお筋は想定

②賀茂大橋上流 [賀茂川側・高野川側] (平成 21 年度施工箇所)

特 徴：賀茂川の飛び石上流右岸側は、施工後 3 年程度で寄州が発達しており、比較的堆積しやすい場所であると思われる。高野川の左岸は施工後堆積している様子はみられない。

要因考察：賀茂川、高野川ともに合流部で河川法線が変化するため、流速の早い「みお筋」の内側（水裏側）は土砂が沈降しやすくなる。賀茂川右岸は、その傾向が顕著であり堆積が進行していると思われる。高野川左岸は寄州除去工事等の影響で「みお筋」化し、堆積しにくくなった可能性もある。

賀茂大橋上流



2009 年 10 月 1 日 (施工前)



2012 年 5 月 14 日 (施工後 約 2 年 2 ヶ月)



2013 年 6 月 17 日 (施工後 約 3 年 3 ヶ月)



2013 年 10 月 11 日
(施工後 約 3 年 7 ヶ月・出水後)

賀茂大橋上流



2009 年 10 月 1 日 (施工前)



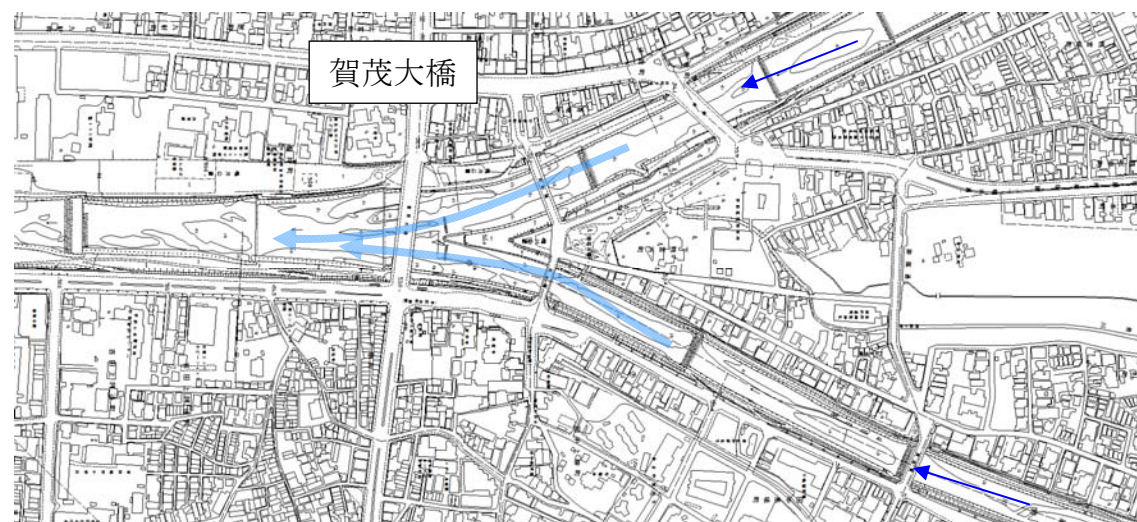
2012 年 5 月 16 日 (施工後 約 2 年 2 ヶ月)



2013 年 8 月 14 日
(施工後 約 3 年 5 ヶ月・出水前)



2013 年 10 月 11 日
(施工後 約 3 年 7 ヶ月・出水後)



※みお筋は想定

③北大路橋下流（平成 23 年度施工箇所）

特 徴：落差工の下流側が、施工後 1 年程度で中州が形成されており、比較的堆積しやすい場所であると思われる。台風 18 号の出水で大きく流失している。

要因考察：直線が連続する区間であるため、橋脚や落差工の傾き、わずかな線形の変化、中州・寄州の形成状況、縦断勾配、上流側の「みお筋」など、わずかな要因でも堆積の状況（場所や規模等）が変わると思われる。ただし落差工の下流側は、流速が一旦落ちる場所でもあるため、中州又は寄州が形成されていく可能性がある。

北大路橋(下流)



2011 年 4 月（施工前）



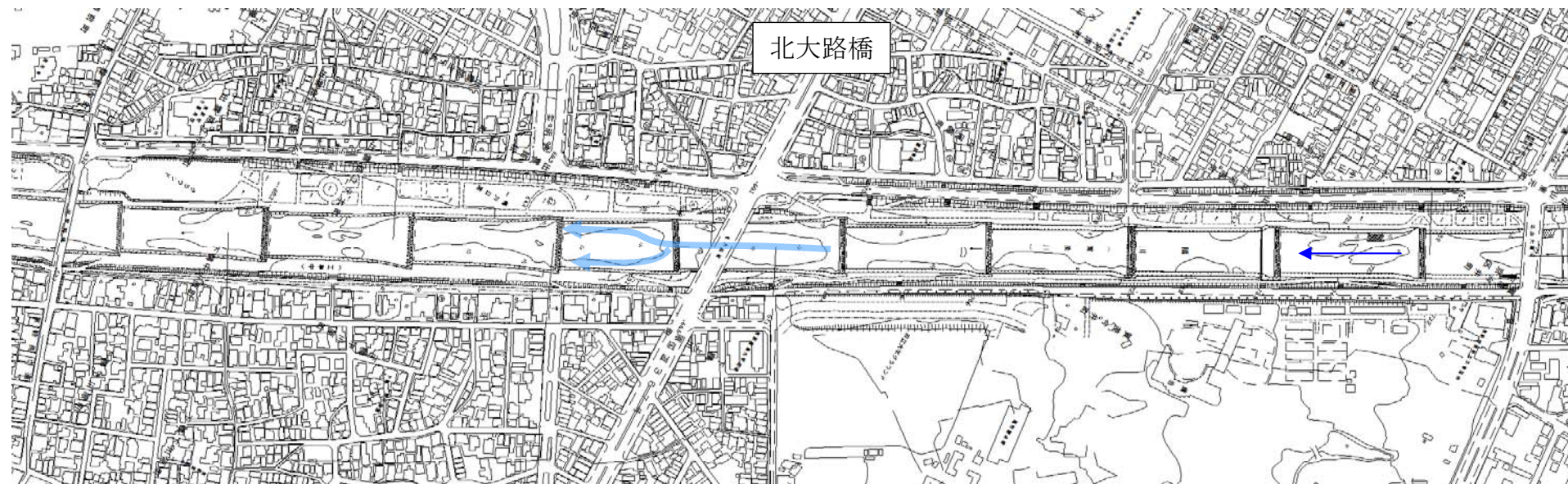
2012 年 5 月 16 日（施工後 約 2 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 1 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 11 月 14 日
（施工後 約 1 年 8 ヶ月・出水後）



※みお筋は想定

④志久呂橋上流・下流（平成 22 年度施工箇所）

特 徴：上流、下流ともに中州が発達しており、堆積傾向が大きい区間であると思われる。下流側は既に寄州化はじめていたが、台風 18 号の出水で大きく流失している。

要因考察：河川法線がカーブしている区間であるため、流速の早い「みお筋」の内側（水裏側）は土砂が沈降しやすくなる。志久呂橋下流の左岸側は台風 18 号の出水で流失したものの、上流・下流ともに本流の「みお筋」は右岸側にあると思われるため、今後寄州化していく可能性がある。また、渓流部を除く鴨川の上流に位置しているため土砂供給量が多く、より堆積しやすい区間であると考えられる。

志久呂橋(上流)



2010年4月30日（施工前）



2011年5月（施工後 約2ヵ月）



2012年5月8日（施工後 約1年2ヵ月）



2013年8月14日
（施工後 約2年5ヵ月・出水前）



2013年11月14日
（施工後 約2年8ヵ月・出水後）

志久呂橋(下流)



2010年4月30日（施工前）



2011年5月（施工後 約2ヵ月）



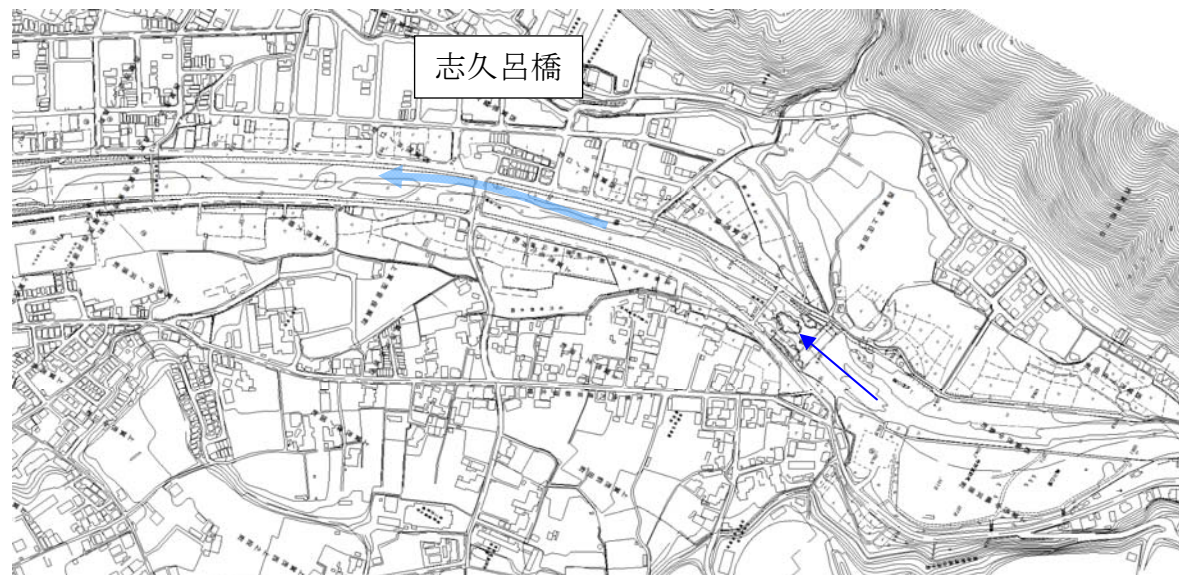
2012年5月8日（施工後 約1年2ヵ月）



2013年8月14日
（施工後 約2年5ヵ月・出水前）



2013年11月14日
（施工後 約2年8ヵ月・出水後）



※みお筋は想定

⑤庄田橋下流（平成 22 年度施工箇所）

特 徴：左岸側寄州が約 1 年で発達しており、堆積傾向が大きい区間であると思われる。台風 18 号の出水では表土が流失している程度である。

要因考察：河川法線がカーブしている区間であるため、流速の早い「みお筋」の内側（水裏側）は土砂が沈降しやすくなる。「みお筋」は右岸側にあると思われるため、左岸側寄州は今後発達していく可能性がある。また、溪流部を除く鴨川の上流に位置しているため土砂供給量が多く、より堆積しやすい区間であると考えられる。

庄田橋(下流)



2010 年 8 月 19 日（施工前）



2011 年 4 月（施工直後）



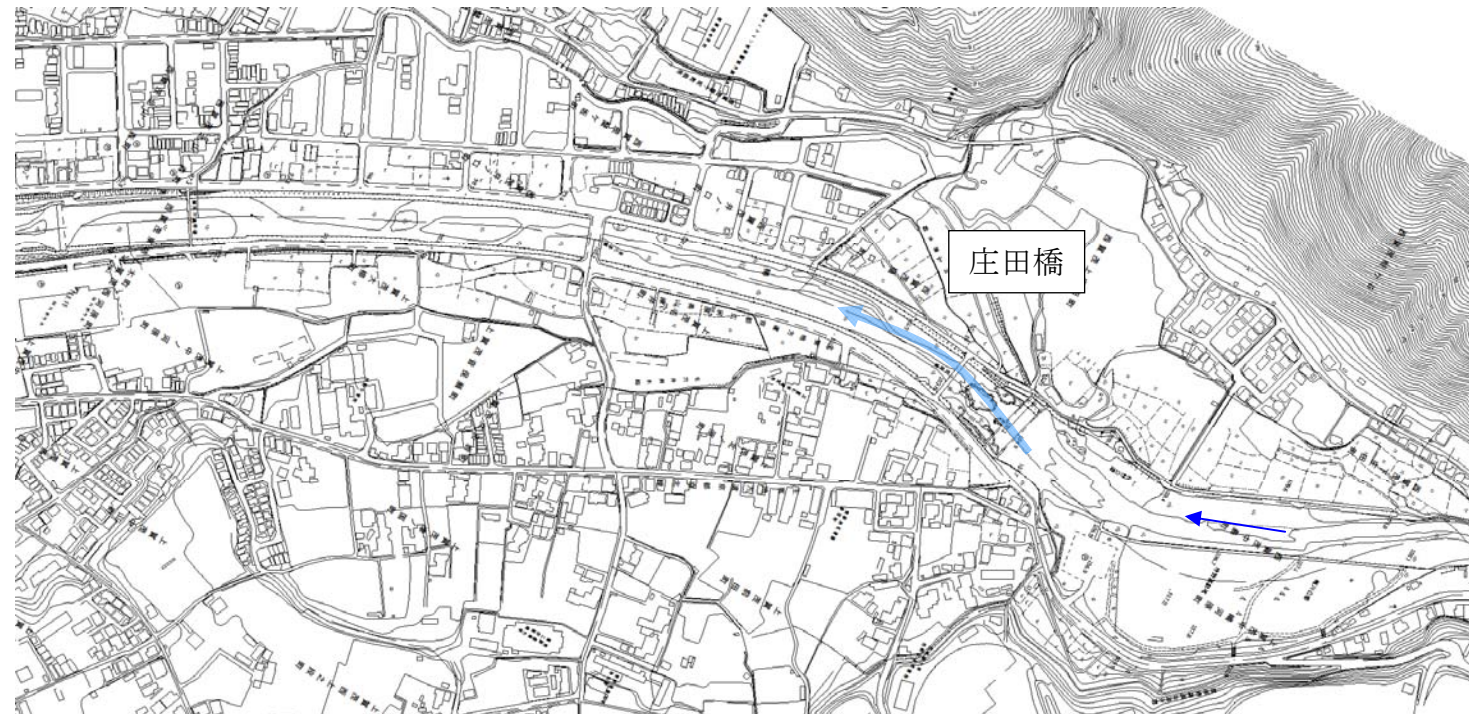
2012 年 10 月 18 日
（施工後 約 1 年 7 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 2 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 11 月 14 日
（施工後 約 2 年 7 ヶ月・出水後）



※みお筋は想定

⑥松ヶ崎人道橋上流・下流（平成 21 年度施工箇所）

特 徴：上下流ともに施工後 1 年程度で右岸側に寄州が形成されており、堆積しやすい区間であると思われる。台風 18 号の出水で右岸側にも流れが戻り、寄州が一部流失している。

要因考察：河川法線が緩やかにカーブする区間であるため、上流側の「みお筋」や中流・寄州の変化など、わずかな要因によって、「みお筋」が安定していない可能性がある。台風 18 号後に右岸側にも流れが戻ったものの、現段階では本流の「みお筋」は左岸寄りにあると思われるため、今後、右岸側の寄州が発達する可能性がある。

松ヶ崎人道橋(上流)



2009 年 12 月 16 日（施工前）



2010 年 4 月 16 日（施工直後）



2012 年 5 月 8 日（施工後 約 2 年 2 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 3 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 10 月 11 日
（施工後 約 3 年 7 ヶ月・出水後）

松ヶ崎人道橋(下流)



2009 年 12 月 16 日（施工前）



2010 年 4 月 16 日（施工直後）



2012 年 5 月 8 日（施工後 約 2 年 2 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 3 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 10 月 11 日
（施工後 約 3 年 7 ヶ月・出水後）



※みお筋は想定

⑦松ヶ崎橋下流（平成 23 年度施工箇所）

特 徴：施工後 1 年程度で右岸側寄州が形成されており、堆積しやすい箇所であると思われる。台風 18 号の出水では表土が流失した程度である。

要因考察：河川法線がカーブしている区間であるため、流速の早い「みお筋」の内側（水裏側）は土砂が沈降しやすくなる。「みお筋」は左岸側にあると思われるため、右岸側寄州は今後発達していく可能性がある。

松ヶ崎橋(下流)



2011 年 5 月（施工前）



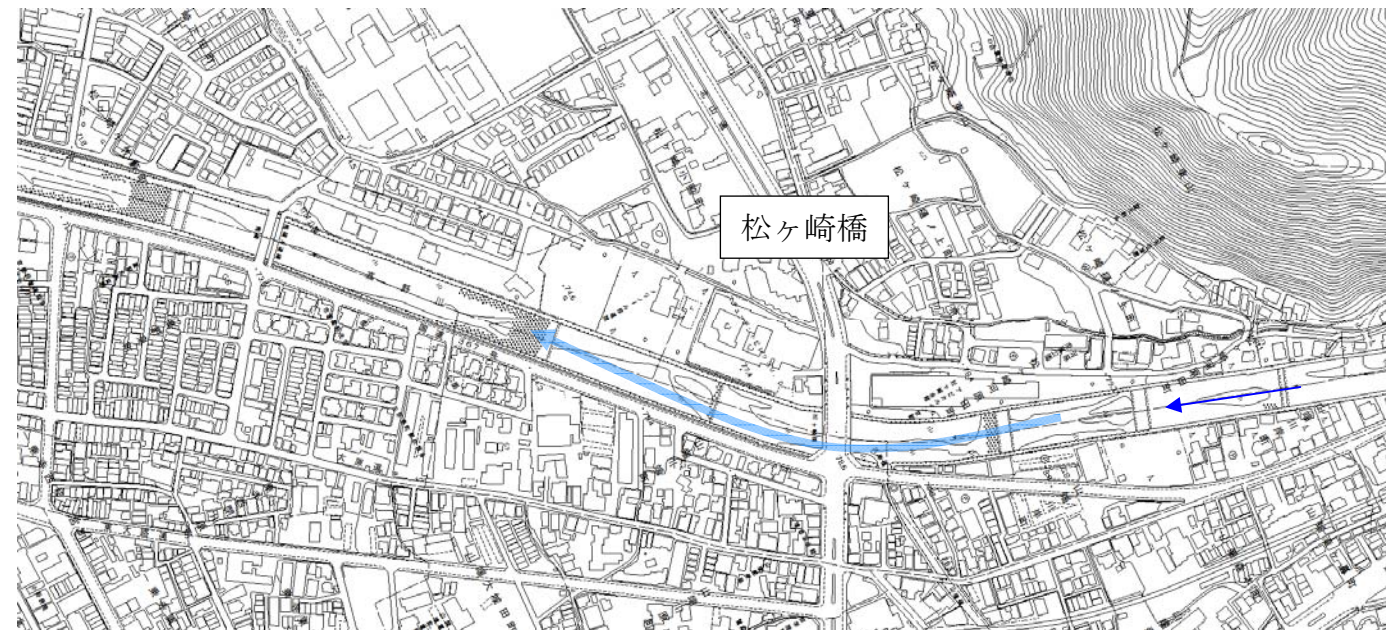
2012 年 5 月 8 日
（施工後 約 2 ヶ月）



2013 年 8 月 14 日
（施工後 約 1 年 5 ヶ月・出水前）



2013 年 10 月 11 日
（施工後 約 1 年 7 ヶ月・出水後）



※みお筋は想定